# 2015 CSR報告書 カンボウプラス

CSR: Corporate Social Responsibility

新しい価値の創造を通じて、 豊かな社会づくりに貢献します。









### CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	5
その他のかかわり	8
CSR自己評価	裏表紙

### カンボウプラスの概要

代 表 者	代表取締役社長 太田克則
設 立	1939年3月24日
資 本 金	10億2,030万円
決 算 月	3月
従 業 員	170人
主要事業	<ul><li>1. ファイバー (繊維) とプラスチック (樹脂) の複合化による キャンバスの製造と販売</li><li>2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した商品の販売</li><li>3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工</li></ul>
事 業 所	本社、東京支店、福井工場
外部認証	福井工場 ISO9001、ISO14001

より新しい用途に

より機能性に優れた性能で

より使い勝手の良い製品を提供して 社会の皆様に貢献できるよう努力いたします。

#### ≪産業資材製造・販売会社としての役割≫

カンボウプラスは繊維素材の樹脂加工を専門とする製造・販売会社であり、主に産業資材用途に使用され、建設現場・土木関連工事・物流資材・レジャー関連等にご利用いただいております。最近では防災関連グッズに当社の製品が使用され、新たな用途となっております。

当社が製造する樹脂加工防水布の機能性をうまく利用した製品が徐々に浸透し、社会の皆様の役に立つことを望んでおります。

最近の異常気象、特に集中豪雨による洪水被害が激増しており、建物への浸水被害が問題となっています。ビル・工場・地下駐車場入り口等の止水用に"止水シート"を製品化して被害を最小化できるよう、非常時の防災グッズを取りそろえました。

ピーアールがまだまだ足りませんが、特注での仕様にも対応いたしますのでご相談ください。



#### ≪事業継続と成長≫

今後も、これまで当社が培ってきたお客様との絆やノウハウをベースに、より新しい、より機能性に優れた 製品の提供で、お客様に喜ばれる産業資材製造・販売会社として市場における役割を拡大してまいります。

そのためにも、品質性能の確保と保証を確実にし、営業活動・アフターサービスに努めてまいります。グローバルにお客様のニーズにお応えするため、海外においても役割を果たせるよう、さらなる事業拡大と強化を進めてまいります。

これらの取り組みを通じてカンボウプラスは、より多くのお客様とともに、持続的に成長することを目指します。そのため時代や環境の変化の本質を見極め、自ら変革するとともに、お客様の多様なニーズに対し、鋭敏な感性と誠実さをもって応えることで、当社の企業理念である≪新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりに貢献します≫を実践し、いつまでも変わらぬ信頼をいただけるよう、日々研鑽に努めてまいります。

ここにお届けする『2015 CSR報告書』は、当社が2014年度に取り組んだCSR活動内容をステークホルダーの皆様に紹介するものです。お手数ですが、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。

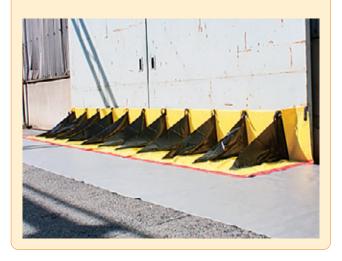
代表取締役社長太田克則

### 当社商品のご紹介

### パネル式止水シート 『パネテクター』

ゲリラ豪雨や河川の氾濫などによる浸水対策として、 広げるだけで土のうの代わりを果たします。

【規格サイズ】 高さ50cm×3m 50cm×5m



### LEDを組み込んだのぼり旗 『LEDリボン』

これまで、夜間等視認性の悪かったのぼり旗に発光 ダイオード(LED)を組み込みました。

夜間等、暗がりでも遠くからの視認性を確保できます。

電源:乾電池



### 路面表示広告シート『サバンナ』

①印刷後のラミネートフィルム不要(時間とコストの削減)

②高い滑り止め性:世界でも基準が厳しいオーストラリア /ニュージーランドの滑り止め性試験AS/NZS 4586 に合格

③高い追従性・強粘着:アスファルト等の凸凹した表面に 最適

規格:1,200mm幅×10m長/30m長

厚み: 0.52mm±0.1mm(50μ厚の剥離紙を含む)

重さ:480g±100g/㎡



### 大型耐候性土のう『バオウ』

3年タイプ

吊り上げ材耐候試験1,500時間強度保持率97%

製品寸法 φ1,100X1,100

入り数 5枚/梱包



### 品質管理について

#### ①品質方針

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定:2013年12月1日

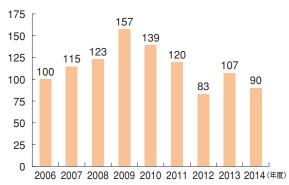
#### ②苦情発生状況

苦情発生件数は前年より減少し、近年では最小であった2012年に次ぐ件数にとどまりました。設計の見直し・改良による品質の向上や自動欠点検出も含め、工程内検査・最終検査の精度を高めることによる不良品の流出防止を図る必要があります。

試作段階から量産加工への移行間もない製品や加工実績が少ない初期流動生産品の品質トラブルが増える傾向にあります。 品質の安定化・品質トラブル防止のため、設計審査を通じて加工性や用途上のトラブルの芽を潰していく必要性を感じています。

#### 苦情発生件数推移

(注) 2006年度を100とした場合の指数表示となっています。



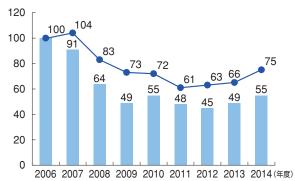
#### ③不良品発生状況

2014年度は、不良品発生件数、不良品発生率とも前年度よりも急激に悪化する結果となり、多方面のお客様にご迷惑とご心配をおかけしました。

不良品発生率悪化の原因は多岐にわたりますが、一つ一つ真 因を見極め、確実に改善を進めていきます。

#### ── 不良品発生件数 → 不良品発生率

(注) 2006年度を100とした場合の指数表示となっています。



#### ④小集団活動

現場力を向上させるべくコンサルタントの指導の下、小集団活動に取り組みました。2月には4つのグループが不良品低減等に関する改善事例の発表を行いました。

今後、この小集団活動を全部署で展開していく計画となっています。



### 環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

#### 『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

- 1 当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
- 2 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
- 3 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- 4 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
- 5 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
- 6 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
- 7 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。

本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

改定 2008年4月1日

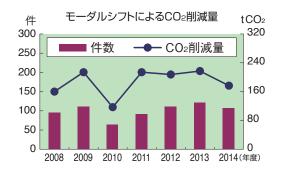
### 事業活動における環境負荷(福井工場)

#### INPUT 事業活動 OUTPUT 水資源 380千t 生産数量 廃棄物のリサイクル量 667t エネルギー 3,897kl 20.678±m<sup>\*</sup> 廃棄物のリユース量 60t 薬品・着色剤 6,541t 最終処分廃棄物量 880t 2,503km フィルム類 CO2の排出量 9,072t 基布類 22,682千㎡

### 地球温暖化防止への取り組み

当社ではモーダルシフトへの転換によるCO2排出量の削減を積極的に進めています。2014年度はモーダルシフトの実施件数が100件を超え、年間176トンのCO2を削減しました。目標としている160トンを超えることができました。

また、クールビズ期間の設定やノーマイカー運動などの温暖化防止への取り組みも継続実施しています。



### ■有害物質の管理

当社設備で使用していた高濃度PCB(ポリ塩化ビフェニル)絶縁油入りコンデンサーは2012年度に処分済みとなっていますが、低濃度品について引き続き保管しています。

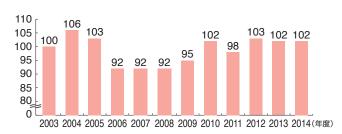
低濃度品についても適正に処分するよう段取りを進めております。

### ■ エネルギー消費量とCO2排出量

2014年度の生産量あたりのエネルギー消費量・CO2排出量は、前年とほぼ同じ結果でした(各指標は各年度別の実数を生産数量(千㎡)あたりに換算した値です)。

エネルギー消費量原単位は、2010年度とほぼ同じ値ですが、生産数量は微増で生産性の向上が確認できますが、さらなる効率化を目指して取り組んでいます。

#### エネルギー消費量原単位推移

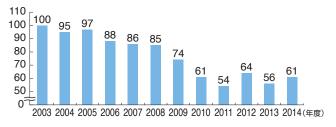




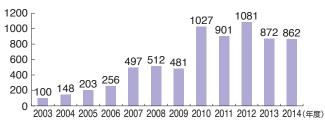
### **廃棄物削減への取り組み**

2014年度の最終処分廃棄物量は、2003年度対比で39%の削減でした。2010年度から最終処分廃棄物量、リサイクル・リユース量はほぼ横ばい状態が続いており、生産時に発生する廃棄物の削減、新たなリサイクル・リユースの検討を進めております。

最終処分廃棄物量推移



リサイクル・リユース量推移



### 環境負荷低減製品開発の取り組み

遮熱性能を付与したテントが、帝人テントのカタログに 掲載されました(商品名:トゥギャザー®)。

テントは、住宅、店舗などに広く使われ、夏は、太陽光を遮ることにより、涼しさを提供してきました。しかし、太陽光の近赤外線を吸収することにより、テント自体が熱くなってしまうことがありました。

『帝人テント・トゥギャザー®(Together®)』は、特殊加工により、近赤外線の吸収を抑えることに成功。

さらに涼しい環境を提供できるようになりました。



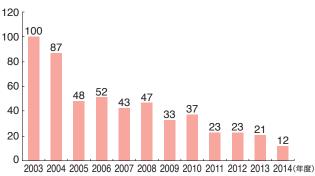


### PRTR法への対応

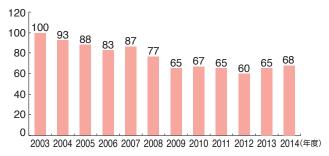
2014年度の生産数量は対前年度比で約9%減少となりましたが、取扱量はやや増加しました。また、2014年度分のフタル酸ビス(2-エチルヘキシル)(DEHP)の大気中への排出量算出にあたっては、実際に排気ダクトから排出される物質中の定量分析結果に基づいて行いました。その結果、DEHPの大気排出量は大幅な削減となりました。

なお、2013年度のDEHPの大気排出量は、揮発量データの実験値を一部修正し、変更の届出を実施しました。各指数は2003年度量(トン)を100とした場合の指数です。

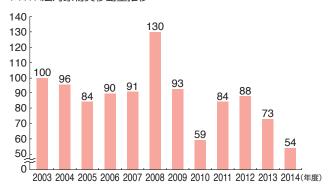
#### PRTR法対象物質排出量推移



#### PRTR法対象物質取扱量推移



#### PRTR法対象物質移動量推移



### グリーン推進活動

#### 〈福井工場〉

月1回、カーセーブデーを設定したことをはじめ、ノーマイカー活動を継続実施しています。2014年度の活動実績は延べ1,264人/年でした。

また、ペットボトルのキャップを分別収集し、エコキャップとしてリサイクル業者に提供する活動も継続しており、2014年度は合計で約27kg分のキャップをエコキャップとして発送しました。

#### 〈全社〉

2008年より地域の美化運動として月1回、各事業所周辺の清掃活動を開始しており、6年間実施しています。2014年度の活動参加者は福井工場で延べ118人、本社で延べ30人でした。

また、本社では2014大阪マラソン(10/26開催)の清掃ボランティア活動として大阪市が主催している、「大阪マラソン"クリーンUP"作戦」に参加しました。10月20日に実施し10人が参加、約5袋分のゴミを回収しました。

#### 参加者のコメント

この取り組みに参加後、ポイ捨てに対する意識が変わり、道端に ゴミが落ちていると、気になって拾ってゴミ箱へと、行動に変化が 起きています。(福井工場:吉村 俊彦さん)

#### 【上記以外の主な活動内容】

- ■環境影響軽減に関する教育・啓蒙
- ●廃棄物削減活動
- ●節電・省エネの実施徹底によるエネルギー使用量削減活動







### 従業員への教育

職場における労働者の安全と健康を確保することを目的に、「安全衛生」を重点課題として社内・社外の教育の充実に取り組んでまいりました。今後も従業員教育を充実し、CSRの推進に取り組んでまいります。

#### (実施した研修)

実施日	研修名	研修内容
2014年 4月	新入社員研修	新・社会人ビジネスマナー基礎研修
		社外安全講習、パソコン講習等
2014年 4月	管理職研修	管理者のための安全管理研修
2014年 6月	技術職研修	5S研修
2014年 6月	営業職研修	プレゼンテーション研修
2014年 7月	中級職研修	リーダーシップ研修
2014年 9月	カンボウカレッジ	津波高潮ステーション見学
2014年10月	管理職研修	「労働安全衛生法」の改定について
2014年10月	監督職研修	監督職のための安全管理研修
2014年11月	技術職研修	イノベーション研修
2014年12月	事務職研修	タイムマネジメント研修
2015年 1月	営業職研修	交渉力研修
2015年 2月	昇級者研修	監督職の役割・CSRとメンタルヘルスについて
2015年 2月	新入社員フォローアップ研修	「仕事の基本、職場のルール」と「安全」について
2015年 3月	製造職研修	安全研修・ヒューマンエラー対策
2015年 3月	考課者訓練	考課者のレベルアップ研修(各事業所)

#### (管理職研修)



#### (製造職研修)



(人)

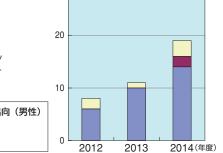
### 公的資格取得状況

公的資格支援規定の教育ビジョンに基づき、従事業務に主体性をもって遂行できるよう各種公的資格の計画的な取得を進めています。

2014年度は、本社では情報セキュリティースペシャリストの資格取得に、福井工場では1級・2級ボイラー技士、有機溶剤作業主任者、乙種4類危険物取扱者、5t未満クレーン運転、玉掛け技能、フォークリフト運転等従業員の安全に重点をおいた8種類の公的資格取得に注力し、会社で延べ51人が資格を取得しました。

### 雇用延長制度

2014年度は全社で19人が、定年後も雇用延長制度によりシニアワーカーとして、知識とキャリアを生かし若手従業員の育成・技能の伝承等専任業務に携っております。近年は雇用延長者が増加傾向にあります。



雇用延長者数の推移

■ 福井工場(女性)

■ 福井工場(男性)

### ワークライフバランス

仕事と生活の調和(ワークライフバランス)を目的に、所定外労働時間の削減、ノー残業デー(オール定時)の設定、 誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得に取り組んでおります。





### 労働安全衛生

#### ①教育・研修実施状況

従業員の安全と健康を守るため、職場で教育・研修を実施してまいりました。また、安全衛生パトロールや安全衛生委員会を労使合同で実施しました。

パトロール区域を決めて、3S・安全性・重点チェックポイントについて、定期的に安全・衛生パトロールを実施しています。

安全コンサルタントも加わり、従来にも増して情報の共有化と問題点の早期解決に取り組んでおります。 安全衛生の研修では、メンタルヘルスやストレスチェックについての理解を深めました。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表(平成27年度提出)	本社・東京・福井工場
心の健康づくり計画の策定	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催 (労使合同)	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診(1回/年)、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
作業環境測定	本社・東京・福井工場
安全管理研修の実施(外部講師)	本社・東京・福井工場
安全衛生について研修の実施(外部講師)	福井工場
特殊健康診断(2回/年)	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場

作成者

班長

#### ②労働災害事故発生件数

2014年度は1件の休業労働災害が発生し、2年連続で休業労働災害をゼロとすることができませんでした。

KYTやリスクアセスメントの推進、安全作業標準の見直し、 安全教育のさらなる充実等、職場の安全対策を積極的に推進し、 労働災害撲滅を図ってまいります。

#### 休業労働災害発生件数

2009年度	1件
2010年度	1件
2011年度	O件
2012年度	O件
2013年度	2件
2014年度	1件

#### ③リスクアセスメント実施状況

社内の各部署で各作業·行動を分析、リスクを抽出、リスクのレベル(重篤度、発生の可能性)を評価、低減策を実施し、対応の優先度を低くするようリスクアセスメント表にまとめました。

2014年度、福井工場では25件がまとめられました。今年度も各部署で実施し、対策を継続する計画となっており、福井工場では70件追加を目指して活動しています。

#### リスクアセスメント表の事例

対象部署	1~3の実施担当者と実施日		4~6の実	施担当者と実施日	7~8の実	] [	工場長	部長	課長	係長	
製造部 製造技術課 製造技術係	担当者 城山	2015年1月22日	担当者 城山	2015年1月22日	担当者 推过	2015年1月22日					

2. 危険性又は有害性と発生			4. リスクレベル		s,n		<ol> <li>対策実施後の リスクレベル</li> </ol>		7. 対応措置			
1. 作業名 (機械・設備)	のおそれのある笑客 (「〜なので、〜して」+「〜に なる」と記述する)	3. 既存の災害防止対策 - (なければ未記人でよい)	東無皮	可能性 発生の	優先度	5. リスク低減対策案	東無度	可能性	優先度	排置 実施日	次年度検討事項	8. 備考
製造事務所 前階段	雨天時、持ち込んだ傘の水満 れにより滑り、転落する可能性 がある。		0	Δ	1	幸重き場を階段下に 設定し、幸による階段 水濡れを防止する。	0	0	I	2015/1/22	特になし	

★重篤度 ×: 意大 △: 中程度 ○: 軽度

★発生の可能性 ×: 頻繁 △: 時々 ○: ほとんどない

★優先度 Ⅲ: 直ちに解決すべき重大なリスク

Ⅱ: 連やかに低減機関を講ずる必要があるリスク

1:必要に応じて低減措置を講ずる必要があるリスク

重算度 可能性	×	Δ	0
×	Ш	Ш	П
Δ	Ш	п	1
0	II	1	1

#### ④火災発生状況

2014年度、福井工場内でダクトの残熱によりダクト内の滞留物が燃えるという火災の発生がありました。 出火時には、工場周辺の住民の皆様ならびに関係者の皆様に、大変ご心配とご迷惑をおかけしました。幸い人身に 及ぶ事故や怪我の発生はありませんでした。

ダクト内への温度センサー設置、見える化対策、消火設備設置による防火対策は、2014年度中に完了しました。 さらに防火体制を強化するため、消火設備の増設、機器点検や教育・訓練を充実させていきます。

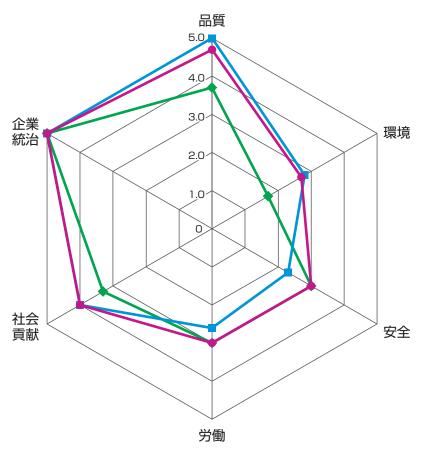
### 緊急事態への備え

#### 災害時における事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan) 作成状況

2014年度はより具体的な計画書を作成し、実践していくために「BCP作成プロジェクト」が発足。事業継続方針の策定、本社・東京支店・福井工場の各拠点での組織図、リスクアセスメント、事業継続要件一覧、事業影響度分析、各種報告書・一覧表の書式作成に取り組みました。

今年度は、運用するためのより具体的な内容に取り組んでいます。

#### CSR自己評価



2012年度	<del></del> 20	13年度 🚤	2014年度
	2012年度	2013年度	2014年度
品 質	3.7	5.0	4.7
環境	1.7	2.8	2.7
安 全	3.0	2.3	3.0
労 働	3.0	2.7	3.0
社会貢献	3.3	4.0	4.0
企業統治	5.0	5.0	5.0

不良品の発生が増加傾向となり、品質についての評価はやや低下しました。

休業を伴う労災の発生が 1 件ありましたが、安全・環境に関する改善提案実行率が前年を上回り、全体としては安全についての評価がやや改善されました。

引き続き環境・安全・労働に関する評価が向上するよう改善を図る必要があります。

## カンボウプラス株式会社

〒541-0054 大阪市中央区南本町1-8-14 堺筋本町ビル TEL 06-6262-1277 FAX 06-6262-9419 URL http://www.kanbo.co.jp/